

平成30年度 愛媛県立松山東高等学校通信制前期卒業式 式辞

本校の青柳に爽やかな秋風が漂う季節となりました今日の佳き日に、保護者の皆様のご臨席のもと、愛媛県立松山東高等学校通信制、平成30年度前期卒業式を挙行できますことを、大変うれしく思います。

ただ今、卒業証書を授与しました皆さん、卒業おめでとうございます。本校入学以来、たゆまぬ努力を重ね、人間的にも大きな成長を遂げた皆さんに、私は、心から拍手を送ります。

皆さんの本校での修業年数はそれぞれ異なりますが、通教生活で学んだことは多かったのでないかと思います。また、皆さんの心の中には、「やり遂げた」という満足感とともに、数々の想いがよぎっていることと思います。新しい友人との出会い、期限の迫るレポートの提出、休日のスクーリングへの出席、仕事との両立、サークルや生徒会の活動、そして運動会。猛暑の夏もありました。厳しい冬もありました。皆さん、頑張りましたよね。何より、多くの悩みや苦しみを乗り越えました。

それらは皆さんにとって代えがたい大きな「財産」です。通信制高校を卒業するということは、素晴らしいことなのです。立派なことなのです。誇りにしてください。胸を張ってください。皆さんこそ、松山東高校の宝です。

皆さんの卒業にあたり、私は、レイモンド・チャンドラーの言葉を贈ります。「強くなければ生きていけない。優しくなければ生きていく資格がない。」

皆さんはこの通教生活で、とても強くなりました。以前の自分と比べてみてください。ずいぶん強くなったでしょう。同時にみなさんは人の弱さや生きてゆく辛さを知っています。あなたたちの、他者へのまなざしはいつも優しい。私は、校門で、廊下で、あるいは定通制総合体育大会などの行事での、皆さんが互いを見つめるまなざしのやさしさを、忘れません。私を迎えてくれた温かいまなざしを忘れません。

これこそ、通信制高校で皆さんが培った人間性です。本当に素晴らしいと私は思います。これからも強く、逞しく、そして限りなく他者へ優しく、生きてください。「強くなければ生きていけない。優しくなければ生きていく資格がない。」皆さんは、松山東高校の誇りです。

保護者の皆様、本日はお子さまの御卒業、誠におめでとうございます。卒業生諸君は、通教生活で一人一人が立派に成長してくれました。今日まで、生徒をそして松山東高校通信制をお支えいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

卒業生のみなさん、通信制高校で学んだ自信、頑張った誇りを胸に、大きく羽ばたいてください。グローバリゼーションと新自由主義の進展は、「自分さえ良ければ良い」という強欲なまでの資本主義をよびおこしています。今こそ、みなさんの強さと、人を思いやるやさしさを発揮して、活躍してほしいと思います。

そして、辛くなったら、時には、ここに帰って来なさい。ここは皆さんの母校です。皆さんの思い出の学園です。

皆さんの、今後ますますの活躍を祈念して、式辞といたします。

レポートのひとつひとつを青春の思い出とせむ きみに幸あれ

平成30年9月30日

愛媛県立松山東高等学校長 村上 敏之